

## 2. 植栽整備の検討

### (1) 整備方針の検討

上位計画である春日野園地他植栽計画で設定された計画目標をもとに評価指標を設定し、それを実現するため必要なものを整備内容とする。

#### ①東大寺本坊外周

##### ●計画目標

計画目標	目標植生	整備影響の 対応区分
・三社池や春日野園地の背景植栽として保全する。 ・南大門、大仏殿への眺望を確保する。	・常緑広葉樹優占林 ・常緑・落葉混交林	適宜整備

##### ●整備のための評価指標

- ・南大門、大仏殿の建築上部が望めること。
- ・三社池や春日野園地などから、本坊外周壁が遮蔽されていること。

##### ●整備方針

- ・眺望の阻害となるスギや常緑・落葉広葉樹は択伐する。(※南大門への眺望確保のためには、東大寺本坊の一部の植栽管理と連携する必要がある。)
- ・眺望の阻害となる樹木は、透かし剪定を行う。
- ・眺望の視線上に樹木が必要な場合は、視線が抜けるクロマツや樹高が高くない樹種に更新する。



南大門への眺望



大仏殿への眺望

## ②三社池

### ●計画目標

計画目標	目標植生	整備影響の 対応区分
・三社池の庭園植栽を保全・継承する。 ・三社池越しの若草山への眺望を確保する。	庭園植栽	慎重に整備

### ●整備のための評価指標

- ・庭園と若草山が調和した景観が眺められること。
- ・四季が感じられる配植となっていること。

### ●整備方針

- ・①東大寺本坊外周と一体的に検討し、眺望の阻害となる常緑・落葉広葉樹を択伐する。
- ・眺望の阻害となる樹木は、透かし剪定を行う。



若草山への眺望（中島付近から）



若草山への眺望（西側護岸から）

### ③春日野橋北

#### ●計画目標

計画目標	目標植生	整備影響の 対応区分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イチヨウ、クスノキ、ナンキンハゼの大木を保全する。</li> <li>・春日野橋から若草山に向けての眺望を確保する。</li> </ul>	常緑・落葉混交林	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜整備</li> <li>・慎重に整備</li> </ul>

#### ●整備のための評価指標

- ・園路を歩きながら若草山の眺望が適度に眺められること。
- ・新緑や紅葉が美しく見える様に適度な密度を維持すること。
- ・ナンキンハゼは、種子散布させない管理ができること。

#### ●整備方針

- ・保全可能なものを除きナンキンハゼは、伐採する。
- ・樹形の崩れた樹木や過密な樹木は伐採する



生長により樹冠が重なり合っている。



強剪定を受けたケヤキ



ナンキンハゼの大木（保全対象）

#### ④大仏前駐車場外周

##### ●計画目標

計画目標	目標植生	整備影響の 対応区分
・樹高のある高木により駐車場等を遮蔽する。	・常緑広葉樹優占 ・常緑・落葉混交林	適宜整備

##### ●整備のための評価指標

- ・参道から駐車場が遮蔽されていること。

##### ●整備方針

- ・⑤大仏殿参道マツ並木の整備に併せて、補植を行う。



参道と駐車場を遮蔽する常緑広葉樹



吉城川沿いの植栽地

## ⑤大仏殿参道マツ並木

### ●計画目標

計画目標	目標植生	整備影響の 対応区分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マツ大木の連続性を強調する。</li> <li>・原則マツ類のみとし、他樹種は混植しない。</li> </ul>	クロマツ疎林(並木等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優先的かつ慎重に整備</li> <li>・適宜整備</li> </ul>

### ●整備のための評価指標

- ・歴史的なマツ並木が連続していること。
- ・マツ以外の樹木が参道景観を乱していないこと。

### ●整備方針

- ・広葉樹や花木類を伐採又は移植する。
- ・クロマツの補植を行う。



吉城川の南側部分



吉城川の北側部分

●目標景観 (大仏殿参道マツ並木)



現在の景観



目標景観

【参考資料】



明治 19 年(1886) 出典：目で見る大和路（昭和 62 年）藤井辰三



絵葉書：南大門 大正 7～昭和 7（葉書様式より推定）

## ⑥吉城川沿いかエデ類

### ●計画目標

計画目標	目標植生	整備影響の 対応区分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上下流との連続性に配慮する。</li> <li>・イロハモミジを主体にし、紅葉樹を混植する。</li> </ul>	カエデ類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優先的に整備</li> <li>・適宜整備</li> </ul>

### ●整備のための評価指標

- ・新緑や紅葉が美しく見える様に、健全な生育と適度な密度を保持していること。
- ・新緑や紅葉の景観に支障となる樹木がないこと。

### ●整備方針

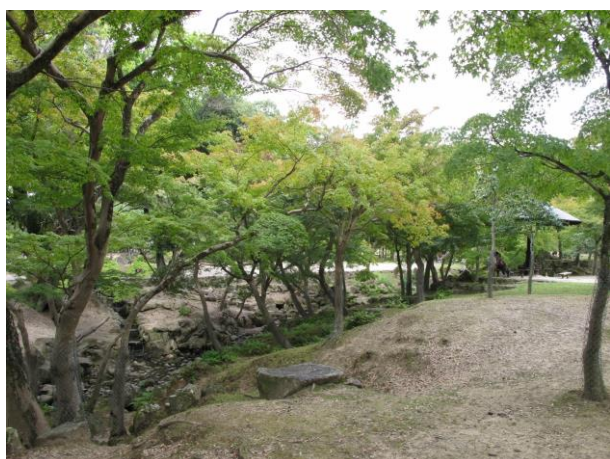
- ・川沿いの樹形の乱れたサルスベリを伐採する。
- ・川辺のヤシャブシを伐採する。
- ・樹木密度の見直しや土壌改善を行い、モミジ類の生育を改善する。
- ・ケヤキやエノキなどの紅葉樹の補植を行う。



川沿いのサルスベリ



川辺のヤシャブシ



過密なモミジ



紅葉のピーク



⑦浮雲園地西・⑧浮雲園地芝地・⑨大仏前交差点付近

この3つの区域については、既存ナンキンハゼの樹種更新を行うため、長期的な事業として一体的に取り組む必要がある。本計画では、将来的な計画目標を踏まえつつ、当面整備として5～10年間程度を目処とした整備内容を取りまとめるものとする。

●⑦浮雲園地西 計画目標

計画目標	目標植生	整備影響の対応区分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロマツ疎林と芝地で構成する。</li> <li>・計画地全体の景観構成を踏まえ、部分的に花木類を導入する。</li> <li>・既存ナンキンハゼは段階的に樹種更新する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロマツ疎林+花木+ 芝地</li> <li>・クロマツ疎林+芝地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優先的に整備</li> <li>・優先的かつ慎重に整備</li> </ul>

●⑧浮雲園地芝地 計画目標

計画目標	目標植生	整備影響の対応区分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若草山への眺望景観の保全を重視した植栽とする。</li> <li>・点在する樹木はマツ類を主体とする。</li> </ul>	芝地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慎重に整備</li> <li>・適宜整備</li> </ul>

●⑨大仏前交差点付近 計画目標

計画目標	目標植生	整備影響の対応区分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロマツを保全・継承する。</li> <li>・既存ナンキンハゼをクロマツに樹種更新する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロマツ疎林(並木等)</li> <li>・常緑・落葉混交林</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優先的に整備</li> <li>・適宜整備</li> <li>・慎重に整備</li> </ul>

●整備のための評価指標（将来）

- ・眺望点から、若草山と手前の樹林や芝地が調和した景観が眺められること。(a)
- ・大仏殿参道から、マツ並木越しに芝地や若草山、新公会堂の屋根が見えること。(b)
- ・大仏殿参道付近から、吉城川沿いや春日野園地、尾根等のサクラが見えること。(c)

●整備のための評価指標（当面）

- ・ナンキンハゼ林の樹林としての魅力や紅葉の魅力を一時的に維持する。
- ・当面整備においても、上記の評価指標（将来）の一部を実現すること。

当面の整備については、前述「ナンキンハゼ林の樹種更新の検討」(3-8頁)において検討されている。これは、評価指標(当面)の第1項目「ナンキンハゼ林の樹林としての魅力や紅葉の魅力を一時的に維持する。」に対応しているもので、第2項目「当面整備においても、上記の評価指標（将来）の一部を実現すること。」に配慮されていない。よって、本項ではこの点について検討を加える。

●当面の整備メニュー

○伐採等

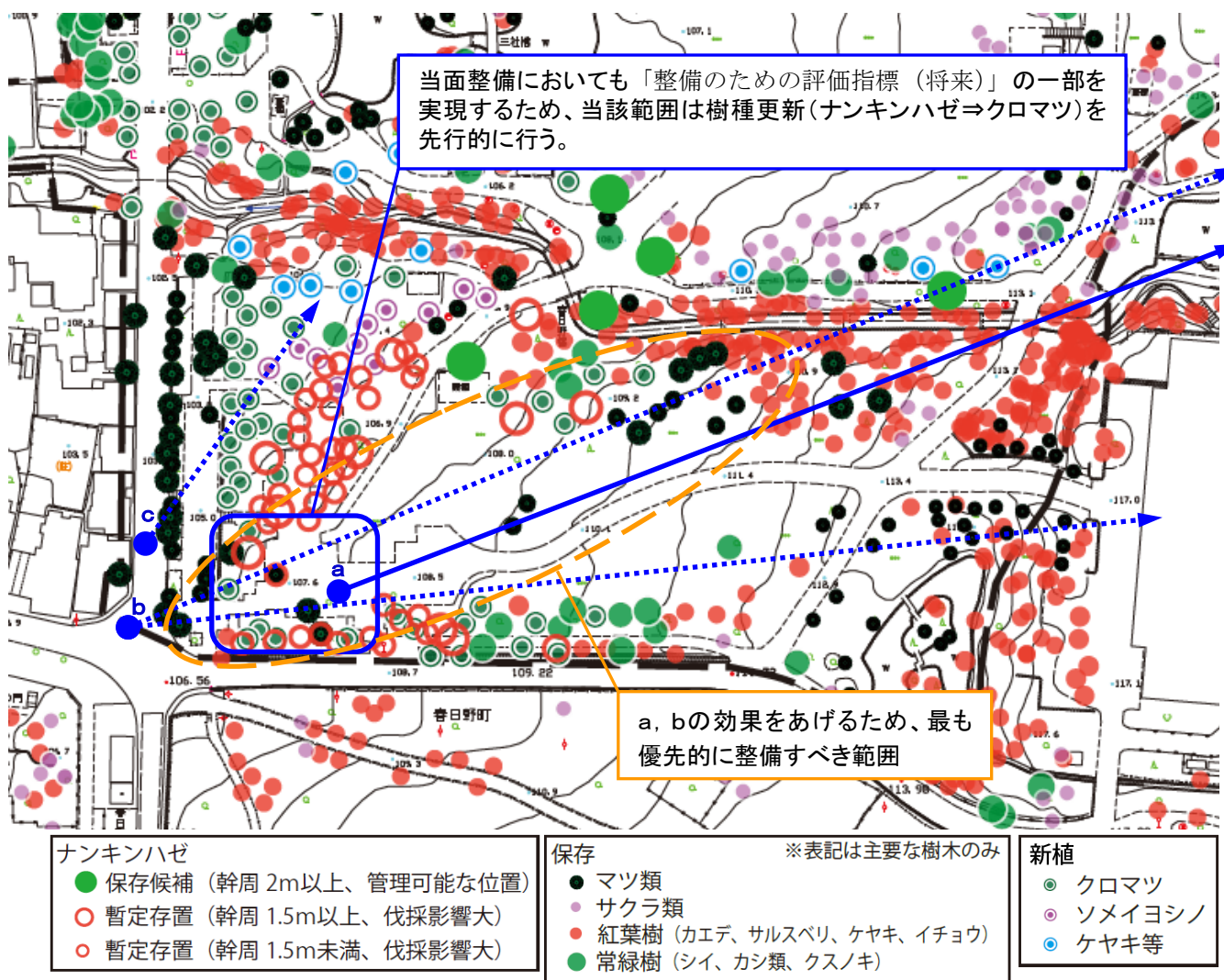
- ・眺望を阻害する樹木（ナンキンハゼ、常緑広葉樹等）は、原則として伐採する。
- ・将来的に眺望を阻害する位置にある常緑広葉樹は、原則として伐採する。
- ・伐採しても景観に影響の少ないナンキンハゼは、原則として伐採する。
- ・浮雲園地エントランスのナンキンハゼは、先行的に伐採を行う。

○補植・新植

- ・クロマツ疎林の保全（復元）のために、クロマツを植栽する。
- ・「周辺の主要動線からサクラの景が見える配植とし、来園者の導入を図る。」ためにサクラを植栽する。
- ・浮雲園地エントランスは、先行的にクロマツ植栽を行う。

○存置・保存等

- ・植栽管理により、種子散布を抑制できるナンキンハゼは保全する。
- ・伐採が景観に影響するナンキンハゼは、原則として暫定存置する。



※本図は「春日野園地他植栽計画 図：ナンキンハゼ 暫定存置の状況（その他樹種を含めた表示）」加筆した。

※a～cは、前ページの「整備のための評価指標（将来）」に対応。

●目標景観（眺望景観A）



現在の景観



目標景観



地点 b から眺望（落葉期）



同左（展葉期）